

## 編集後記

2024 年第一号は、本会会長小枝達也先生の提言「成育基本法と小児保健のこれから」から始まり、伊藤善也先生の成長曲線に関する「総説」、「視点」として春原則子先生の医療従事者の会話能力向上に関する論文、2023 年第 70 回日本小児保健協会学術集会からは会頭講演の小枝達也先生、特別講演の山本圭子先生、教育講演の岡部信彦先生、シンポジウムから 2 題（掛川亜季先生、金谷直子先生）、投稿論文書き方セミナーでは萱間真美先生から原稿をいただきました。その他に 1 題の報告（熊本 崇先生）、感染症・予防接種レター（並木由美江先生）を掲載することができました。活発な会員の皆様の執筆活動に心から感謝申し上げます。

さて、私が小児科学会で学校保健・心の問題委員会を担

当していた時、伊藤善也先生の協力を得て、渡邊久子先生（神経性食欲不振症）、奥山真紀子先生（子どものマルトリートメント）とともに、内分泌疾患以外の疾患の早期発見にも成長曲線が有用であるという主旨のパンフレットを作成しました。今でも多職種と連携して仕事をするときは、重要な共通語として成長曲線を活用しています。

小枝達也会長が提言で述べているように、小児保健の分野は、大勢の方に情報を提供し、多職種の連携をより深めるという重大な役割があります。この目的を果たすには、成長曲線の理解、医療従事者の会話能力の向上は不可欠です。ご一読いただき、2024 年も会員皆様方からの投稿をお待ちしています。

（沖 潤一）

### 編集業務に関するお知らせ

「小児保健研究」等の原稿の投稿や編集に関するお問い合わせは下記にお願いします。  
〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10 株式会社杏林舎内「小児保健研究」編集部  
TEL：03-3910-4311 FAX：03-3949-0230 E-Mail：jsch\_edit@kyorin.co.jp

公益社団法人日本小児保健協会 日本小児保健協会ホームページアドレス <a href="http://www.jschild.or.jp/">http://www.jschild.or.jp/</a> E-mail：jsch-soc@umin.ac.jp 小児保健研究 第 83 卷 第 1 号	
発行所 公益社団法人日本小児保健協会 〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町12-1 トナカイ神田タワー 9 階 TEL：03(3868)3093 FAX：03(3868)3092	2024 年 1 月 31 日 発行 発行人 小枝達也 編集代表 堀口寿広 編集業務 株式会社杏林舎